



初日の試験開始を待つ受験生Ⅱ
5日、鹿児島市の鹿児島女子高校

県内公立高入試始まる 8219人受験

鹿児島県内の公立高校の2025年度入学者選抜学力検査が5日、全日制と定時制の計69校157学科で始まった。出願者8507人のうち8219人が受験。定員1万474人に対する倍率は、最終倍率が過去最低だった21、23年度と並ぶ0.78倍だった。6日まで。

(20~23面に問題と解答例)

5日は国語、理科、英語の試験を実施した。学科を再編する鹿児島女子(鹿児島市)では、定員193人に対し125人が受験。試験会場前の廊下では、受験生

たちが真剣な表情で参考書を開いていた。

県教育委員会によると、各試験会場でのトラブルはなかった。体調不良などの別室受験は85人。欠席者は288人で、鹿児島中央(鹿児島市)の25人が最も多く、国分(霧島市)、鹿屋(鹿屋市)が18人と続いた。高校教育課によると、私立や工業高等専門学校への進路変更とみられる。

6日は社会と数学がある。合格発表は13日午前11時以降。同日、2次選抜の実施校と募集枠を発表する。(出水柊)

国語

国語で正確に理解し適切に表現する力をみるために、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、わが国の言語文化に関する「知識および技能」や、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの「思考力、判断力、表現力」をみる問題を出した。また作文問題では、資料を参考にして自分の考えを表現する力をみた。

①漢字・書写

漢字は言葉の特徴や使い方に関する事項として、小・中学校で学習する漢字の読み書きを出題した。書写はわが国の言語文化に関する事項として、漢字を行書で書いた時の特徴について問うた。

②説明的な文章

茨木のり子の詩「自分の感受性くらい」と、それに関する文章を素材とする問題。言葉の特徴や使い方に関する事項として、表現技法や文法事項を問うとともに、思考力、判断力、表現力に関する問題として、筆者の詩の捉え方を本文に基づいて読み取らせる問題や、本文の主題について指定された字数で表現させる問題、本文の論理の展開について問う問題を出した。

③古典(古文)

平安時代の説話集「日本霊異記」を素材とする問題。わが国の言語文化に関する事項や、文章の内容を理解する力をみるとともに、本文を基に生徒が課題を設定して作成したノートを想定し、現代語で書かれた本文に関する資料を手掛かりに内容を理解し、自分の言葉で表現する力をみる問題を出した。

④文学的な文章

自分の思うとおりに行動できない主人公が、クラスメートとの関わりによって、自らが「透明なルール」にとらわれていたことに気づき、考え方を变えていこうとする、心の変容を描いた文学的な文章を素材とする問題。言葉の特徴や使い方に関する事項として、語句の意味を問うとともに、思考力、判断力、表現力を問う問題として、情景描写を踏まえて主人公が考えていることを読み取る問題、主人公の心情の変化について指定字数で表現する力をみる問題などを出した。

⑤作文問題

「日本語の魅力について」というテーマで、資料から一つの項目を取り上げ、その項目に魅力を感じる理由について自分の意見を記述する問題。資料を適切に引用し、根拠を明確にしながら自らの考えを表現する力をみる問題を出した。

理科

中学校までの理科の学習で扱われる観察や実験を題材に、基礎的・基本的な知識および技能を問う問題、図・表や問題文から必要な情報を読み取り、科学的に思考し表現する問題を出した。また、日頃から主体的に観察や実験に取り組むことなどを通して科学的に探究し、思考力、判断力、表現力を身に付けているかどうかをみた。

①基礎的・基本的な知識をみる問題

エネルギー・粒子・生命・地球の4領域から、基本的な知識を問う問題、日常生活との関連から思考力をみる問題を出した。

②地球領域の問題

Iで地震に関する会話や観測記録を題材に、基本的な内容を問う問題、震源距離と初期微動継続時間の関係や緊急地震速報のしくみを理解し考察する力を問う問題を出した。IIは金星の観察記録が題材。見え方の変化について理解力をみる問題、仮説を設定しモデルを基に考察する問題、金星の公転運動について太陽、金星、地球を俯瞰(ふかん)する視点と地球からの視点をあわせて思考できるかをみる問題を出した。

③粒子領域の問題

Iは、サツマイモの皮を用いた指示薬を利用した中和の実験が題材。水素イオンと水酸化物イオンに基づく中和の反応式を問う問題、中和反応の量的な関係についてグラフで表現したり、粒子モデルを用いて思考したりする力をみる問題を出した。IIでは物質を加熱し、質量を測定する実験を題材に、燃焼や非電解質など基本的な知識を問う問題、スチールウールの燃焼に関する実験データと理論値を比較した上で、実際に酸化された割合について思考力をみる問題を出した。

④生命領域の問題

Iで、だ液による消化の実験を題材に、消化や実験に関する基本的な知識や技能を問う問題や、生徒が実験の結果を分析して解釈する力や考察する力をみる問題を出した。IIでは、生物の多様性と進化を題材に、基本的な理解力をみる問題、セキツイ動物の進化の過程を思考し、さらに現存する生物を分類するための基準を説明する問題を出した。

⑤エネルギー領域の問題

Iでフックの法則に関する実験を題材に、基本的な知識を問う問題、2力の合力を矢印で表したり、ばねにつるしたおもりが電子てんびんで示す値について思考したりする力をみる問題を出した。IIでは、交流に関する探究活動を題材に、抵抗値を測定するための回路図やオームの法則についての理解力をみる問題、交流や音に関する周波数や振動数に関する思考力をみる問題を出した。

英 語

中学校段階で育成された英語の音声や語彙（ごい）、表現、文法、言語の働きなどの知識を理解していることに加え、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかを、可能な限りバランスよく測る問題を出した。

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について必要な情報や考えなどを理解し、それらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力をみる問題を出した。また、聞いたり、読んだりした対話文や英文の内容について、思考力、判断力、表現力を問うとともに、「聞くこと」、「読むこと」および「書くこと」の領域を関連付けた統合的な活用力をみる問題も出した。

①放送による聞き取りテスト

自然な口調で話される対話やスピーチなどについて、必要な情報や話の概要、要点を正確に聞き取る力をみる問題、聞き取った内容に関する英語の質問に英語で答える統合的な活用力をみる問題など、主に「聞くこと」に関する問題を出した。

②知識・技能および適切な表現力をみる問題

基本的な語彙（ごい）や文法、口語表現など、知識および技能をみる問題を出した。また、与えられたイラストについて、出来事が起こった順に英語で適切に表現する力をみる問題を出し、内容だけでなく英語使用の正確さも重視した。さらに、授業の現場におけるALTからの質問に対する意見や考えを表現する問題も出した。

③英文の概要や要点を正確に把握する問題

主に「読むこと」に関して必要な情報や概要、要点を正確に把握する力をみる問題を出した。日常的な話題については、言葉に関する授業中のスピーチ原稿から、発表者の考えを読み取る問題、商品の比較表から必要な情報を読み取る問題を出した。また社会的な話題については、オーストラリアの英語の特徴に関するスピーチ原稿を読み、その中の重要な情報を判断し、英文の要点を読み取る問題を出した。

④長文読解

国際交流についてのプレゼンテーションの原稿を読み、内容を適切に理解した上で、発表者が使用したスライドの空所を補充する問題、読み取った情報からグラフを選択する問題、空所に適切な英語を補って英文を完成させる問題など、まともりのある文章において、「読むこと」の力を総合的にみる問題を出した。

社会

地理・歴史・公民の各分野の基礎的・基本的な事項に関する「知識および技能」と、地図・グラフ・表・写真などの資料や問題文から必要な情報を読み取り解答する「思考力、判断力、表現力」をみる問題を出した。また、各中間では、複数の資料から読み取った情報を活用して判断し、条件を踏まえて適切に表現する力をみる問題を出した。

①地理的分野

Iで世界地図を、IIで日本地図を基に出題した。I、IIともに基礎的・基本的な事項に関する「知識および技能」と、略地図や表、グラフ、地形図などの資料を基に「思考力、判断力、表現力」をみる問題を出した。また、Iではインドの食文化と宗教との関係について、IIでは臨海部における再開発について、複数の図・表・写真などの資料から読み取った情報を活用して表現する力を問う問題を出した。

①歴史的分野

Iで古代から江戸時代まで、IIで19世紀後半以降の歴史的事象について出題した。Iは中学生が調べたことや資料を基に、IIは略年表や中学生がまとめた資料を基に基礎的・基本的な事項に関する「知識および技能」「思考力、判断力、表現力」をみる問題を出した。また、Iでは鎌倉時代の法令が出された理由とその内容について、IIでは1972年以前の沖縄で渡航証明書が必要であった理由について、史料・イメージ図・写真などの資料から読み取った情報を活用して表現する力を問う問題を出した。

①公民的分野

Iで政治に関する内容、IIで経済に関する内容について出題した。I、IIとも中学生の学習活動を基に、基礎的・基本的な事項に関する「知識および技能」、「思考力、判断力、表現力」をみる問題を出した。また、Iではある中学生が作成したレポートの抜粋から探究活動における提案内容の目的を、IIでは日常生活の中で目にするレシートを題材にして消費税のもつ性質への対応策を、それぞれ資料から必要な情報を的確に読み取り表現する力について問う問題を出した。

数学

小学校から中学校までの学習内容から、基礎的・基本的な知識および技能を生かして、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度と数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力をみる問題を出した。

①基礎的・基本的な知識および技能をみる小問集合

数学の学習の基礎となる計算、最小公倍数、逆数、二次方程式、文字式の利用、反比例および速さなどについて、基礎的・基本的な知識および技能をみる問題を出した。

②各学習領域における思考力、判断力、表現力をみる小問集合

確率、割合、平面図形の作図、三角形の合同の証明および連立方程式について、思考力、判断力、表現力をみる問題を出した。

③データの活用

2024年に開催されたパリオリンピックにおける選手データについて、箱ひげ図を活用して考察する問題を出した。平均値、箱ひげ図について、基礎的・基本的な知識および技能をみた。また、箱ひげ図とヒストグラムの関係、四分位数と箱ひげ図について、思考力、判断力をみた。

④2乗に比例する関数とその応用

タブレット端末を活用して関数について考察する問題を出した。関数 $y = ax^2$ のグラフや1次関数について、基礎的・基本的な知識および技能をみた。また、関数 $y = ax^2$ や1次関数のグラフについての深い理解とその活用について思考力、判断力、表現力をみた。

⑤平面図形とその応用

身近にあるハチの巣や円周率に関する探究的な学びの場面を題材にした問題を出した。正多角形の内角の大きさや、面積および周の長さについて、基礎的・基本的な知識および技能をみた。また、図形に対する数学的な見方・考え方を基に、円周率の近似値について、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度や、課題を解決するための思考力、判断力、表現力をみた。